

公共施設廃止で 市民の利便性悪くなるが

真野 和久議員

他施設の活用など説明し理解してもらう
総務部長



■廃止が具体化する主な公共施設

□庁舎関係

八開庁舎

□コミュニティセンター関係

市江地区コミュニティセンター

西保地区防災コミュニティセンター

立田北部地区防災コミュニティセンター

立田南部地区防災コミュニティセンター

藤浪地域防災コミュニティセンター

勝幡地域防災コミュニティセンター

町方地域防災コミュニティセンター

草平地域防災コミュニティセンター

川淵地域防災コミュニティセンター

□福祉施設関係

八開総合福祉センター

佐屋老人憩いの家

藤浪老人憩いの家

□体育施設関係

佐織体育館

立田体育館

八開総合運動場

※「愛西市公共施設等個別施設計画」から抜粋

▲廃止予定の公共施設

問 コミュニティセン

ーなどを廃止するロードマップを庁内で検討している。この動きは、市民の活動や生活に大きな影響が出る。廃止の理由は、**答** 残存耐用年数を指標とする建物性能と、施設で異なるが、面積、1日当たりの利用者数や稼働率などを指標とする利用状況などを参考に整理した。

問 ロードマップの具体的な内容は。策定の時期、

施設の廃止時期は。

答 愛西市公共施設等マネジメント推進会議とその作業部会で、施設ごとの具体的なスケジュールを検討する予定だ。施設ごとに状況が異なるので、スケジュールも異なる。

問 計画で廃止の方針とされている施設は、市民の利便性や利用がなくなる。どう考えているのか。対策は。

答 地元管理や他施設の利用への移行を進めるな

どの方向性を定めた。

他施設の活用をお願いするなど説明に努め、理解してもらう必要がある。

問 議論の中で廃止の見直しの可能性はあるか。

答 方向性の見直しはないものと考えている。

AEDを24時間使用可能に

問 AED(自動体外式除細動器)は、心室細動(心臓がけいれんを起こして血液を送れなくなつた状態)を起こした人に電気ショックを与えて心臓のリズムを正常な状態に戻す機器だ。電源を入れると音声で操作方法を指示してくれるので、専門的な知識がない一般の市民でも使える。救急車が到着するまでに、市民による救急救命活動が行え、生存率もアップする。

本市の公共施設等のAEDの設置状況は。

答 市内69カ所の公共施設、10カ所の市立の保育園、幼稚園に設置している。

問 公共施設で24時間利用可能な施設は。

答 愛西市役所、消防本部消防署、消防署分署の3カ所。

問 コンビニエンスストアと協力をしていくことを検討してはどうか。

答 いつでもAEDが使用可能な状況になるメリットはあるが、現時点では、コンビニエンスストアへのAED設置については、県からの包括的な協力支援もないため考えていない。